

News Release

2016年4月26日
一般社団法人 日本電機工業会 (JEMA)

重電機器受注生産品の受注実績 2015年度「第Ⅳ四半期(1-3月)及び年度」

JEMA では、わが国の重電産業に関する基礎資料のうち、重電機器の受注動向及び需要者(業種)別の市場動向等を通して重電産業の動向を把握して頂くために、JEMA 会員独自で実施している重電機器の自主統計を一般に公表しております。ここに、重電機器受注生産品の2015年度「第Ⅳ四半期(1-3月)」の受注実績を公表致します。

2015年度 第Ⅳ四半期(1-3月)の概要

【概況】

第Ⅳ四半期の受注額は5,433億円(前年度同期比110.0%)と前年同期比超えとなった。製造業が6四半期ぶりに前年同期比割れ、また、外需が2四半期連続の減少となったものの、非製造業のうち、電力業が大幅な増加となり全体を押し上げた。
(*以下、前年度同期比は「同」と略記)

【需要者別動向】

■内需

内需は4,004億円(同121.8%)と、非製造業の大幅増により前年同期比超えとなり、堅調を維持した。

- 製造業は718億円(同98.6%)となった。主要需要先でみると、電気・情報通信、自動車が増加したが、鉄鋼業、はん用・生産用・業務用機械が減少した。
- 非製造業は2,755億円(同143.8%)となった。大口需要先である電力業が2四半期連続の前年同期比超えとなり、全体を押し上げた。
- 官公需は一部需要先を除き大幅に減少し467億円(同78.6%)となった。

■外需

外需は1,429億円(同86.4%)と、2四半期連続の前年同期比割れとなった。

【製品別動向】

- 交流電動機、変圧器、遮断器は、内需のうち電力向けが増加し、前年同期比超えとなった。
- 制御装置は、内需のうち電力向け及び外需が増加し、前年同期比超えとなった。
- 電力変換装置は、太陽光発電設備向けパワーコンディショナの国内受注は減少傾向にあるものの、内需のうち電力向けが増加し、前年並みとなった。

2015年度 重電機器受注生産品受注実績

2015年度受注額は、1兆7,795億円(同99.7%)と前年並みとなり、昨年度大幅に伸びた水準を維持している。

- 内需は1兆2,708億円(同106.3%)となった。内訳をみると官公需が減少したものの、製造業、非製造業ともに前年を上回った。非製造業の大口需要先である電力業は2桁の伸びであり、また、製造業では鉄鋼業、はん用・生産用・業務用機械、自動車が2桁の伸びであり、好調である。
- 外需は5,087億円(同86.3%)と前年を下回った。

■対象(重電機器受注生産品)

ユーザより注文を受け、個別の仕様で製造する製品群である受注生産品を調査対象としております。

- ・需要者(業種)は主に電力業や鉄鋼業、はん用・生産用・業務用機械、電気・情報通信機械、自動車などの主要製造業及び官公需等であり、
- ・重電機器の主要製品は、回転機(発電機、交流電動機)、静止・開閉器(電力変換装置、変圧器、遮断器、配電装置、制御装置)等であり、

■公表の内容

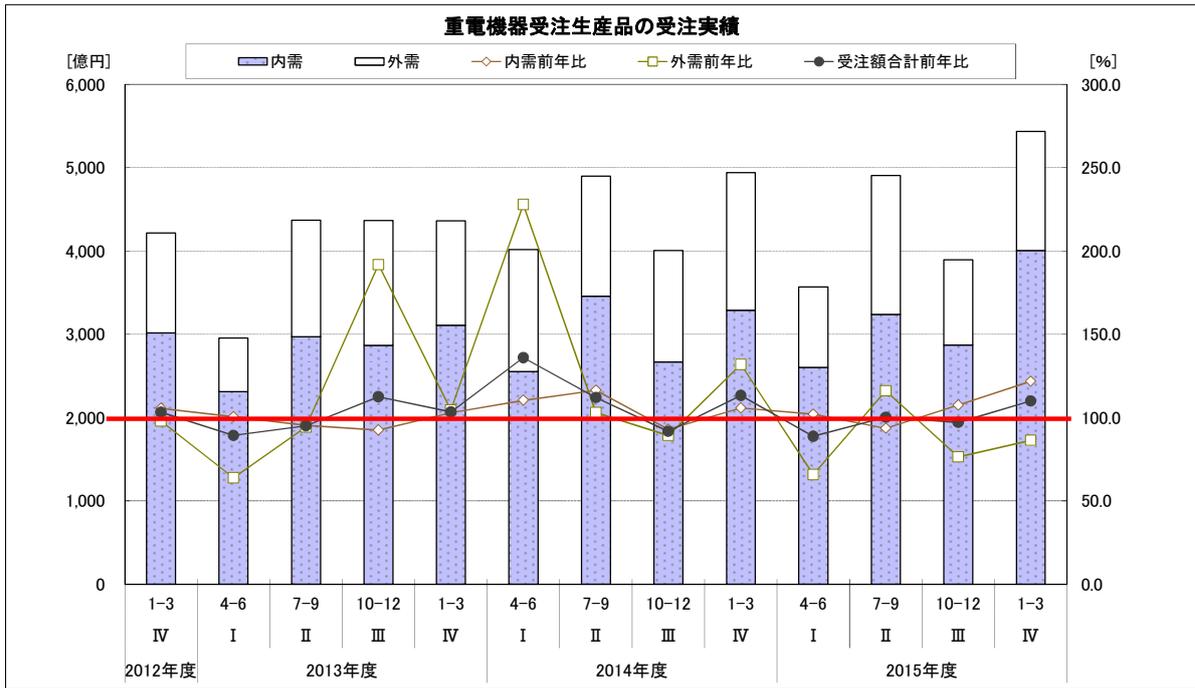
重電機器受注生産品全体の受注実績額、内需の需要者(業種)別、外需などを把握することで、国内外の受注動向および市場動向を把握することができます。また、重電機器受注生産品の受注実績は、需要者(業種)別の設備投資の状況等を把握できますので、景気動向の先行指標として活用できます。

■公表の形態

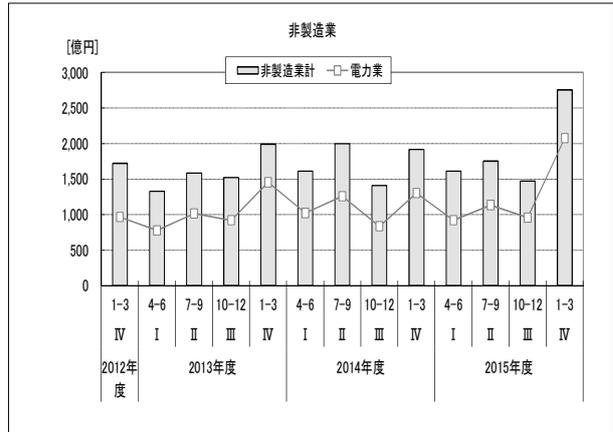
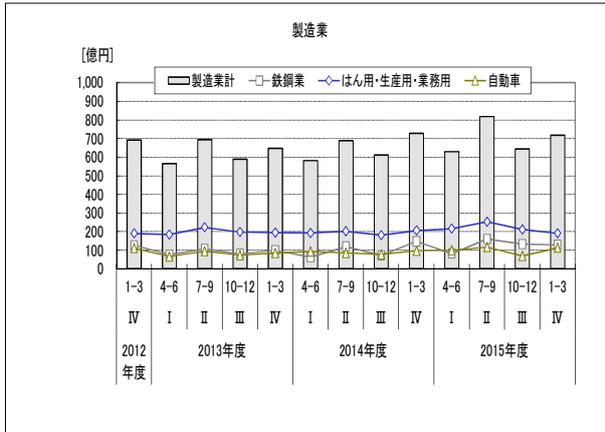
- ・JEMA 会員独自で実施している自主統計を四半期毎に公表致します。

■ 四半期実績の推移

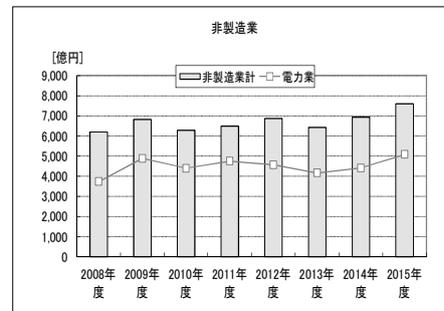
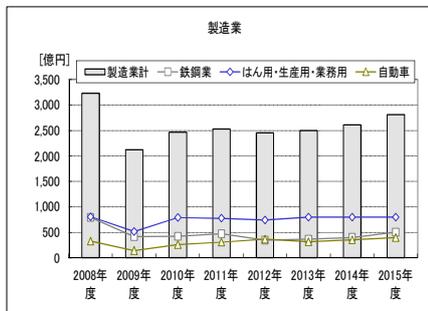
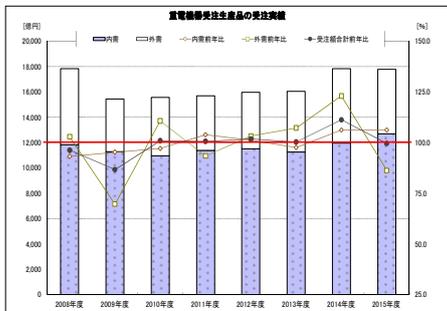
【受注実績: 内需+外需】



【内需内訳】



■ 年度実績の推移



本資料に関する弊社問い合わせ先
 TEL: 03-3556-5885
 重電部調査統計課